



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社C&Fロジホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9099 URL <http://www.cflogi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 綾 宏将
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 坂内 茂昭 (TEL) 03-5291-8100
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 56,267 | 1.0 | 3,290 | 25.1 | 3,438 | 28.5 | 2,297 | 28.6 |
| 2020年3月期第2四半期 | 55,724 | 2.0 | 2,630 | 3.9 | 2,675 | △0.1 | 1,785 | △1.3 |

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,632百万円(82.2%) 2020年3月期第2四半期 1,444百万円(△26.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 90.58 | — |
| 2020年3月期第2四半期 | 70.16 | — |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 87,745 | 42,057 | 47.1 | 1,652.04 |
| 2020年3月期 | 82,119 | 40,497 | 48.5 | 1,564.71 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 41,357百万円 2020年3月期 39,833百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 11.00 | — | 11.00 | 22.00 |
| 2021年3月期 | — | 11.00 | — | — | — |
| 2021年3月期(予想) | — | — | — | 11.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 111,700 | 0.9 | 5,600 | 15.3 | 5,700 | 13.3 | 3,700 | 7.8 | 145.34 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期2Q | 25,690,766株 | 2020年3月期 | 25,690,766株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 656,432株 | 2020年3月期 | 233,591株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年3月期2Q | 25,360,126株 | 2020年3月期2Q | 25,457,211株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (追加情報) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により社会・経済活動の急速な停滞を招き、極めて厳しい状況となりました。政府による緊急事態宣言の解除後には、徐々に各種活動が再開されたものの本格的な回復には至っておらず、景気・経済の状況は非常に不透明なまま推移いたしました。

当社グループが主軸をおく低温食品物流業界におきましては、ライフスタイルの変化を背景として、冷凍・冷蔵食品の需要は底堅いものの、新型コロナウイルス感染拡大により、外食を中心とした業務用食品の荷動きが鈍化し、一方、家庭用食品の需要が急増するなど、外食から中食・内食へのシフトが劇的に進みました。

このような貨物需要の急激な変化に対し、当社グループは、社会インフラでもある食のサプライチェーン機能を維持し続けるため、各拠点において十分な感染防止対策を施し従業員の安全を確保したうえで、当社グループ内における繁忙の差を利用した人員の再配置を行うなど、グループ力を結集しこの危機に対処してまいりました。従前からの取り組みとして、自社車両による配送比率の引き上げをはじめとしたコスト構造の見直しや、従業員の定着率向上に向けた働きやすい職場環境づくりなども引き続き取り組んでまいりました。また、外部要因といたしまして、原油取引価格の下落により燃料費は大幅に減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は56,267百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は3,290百万円(前年同期比25.1%増)、経常利益は3,438百万円(前年同期比28.5%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、2,297百万円(前年同期比28.6%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①TC事業(通過型センター事業)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による外食から中食・内食へのシフトにより、食品スーパーや小売店向けのチルド食品の物量は堅調に推移したものの、外出機会の縮小とインバウンドの大幅な減少や、都心エリアのコンビニエンスストア関連の物量が大きく減少したことなどにより、営業収益は36,830百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

セグメント利益につきましては、自社車両を使った配送比率の引き上げによる配送の効率化推進の取り組みや、原油単価の下落に伴う燃料費の減少があったものの、労働力確保に伴う労務コストの大幅な増加等により、2,634百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

②DC事業(保管在庫型物流事業)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による外食から中食・内食へのシフトにより、主に外食店舗向けの業務用冷凍食品の物量の減少が続き、一方、家庭用冷凍食品の物量は例年を上回る状態が継続し、営業収益は18,508百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

セグメント利益につきましては、取扱物量の増加や労務コンプライアンスの推進に伴う外注費及び労務費の増加はあったものの、倉庫荷役の適切な管理による労働生産性の向上や、海外事業の収益拡大、原油単価の下落に伴う燃料費や動力費の減少等により、2,593百万円(前年同期比29.8%増)となりました。

③その他

警備輸送業・病院等関連物流業・人材派遣業・保険代理店業等により営業収益は929百万円(前年同期比0.4%減)、セグメント利益は102百万円(前年同期比26.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,625百万円増加し、87,745百万円となりました。

主な増加は「現金及び預金」3,163百万円、「建設仮勘定」1,098百万円であり、主な減少は「リース資産」518百万円によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4,066百万円増加し、45,687百万円となりました。

主な増加は「短期借入金」4,500百万円であり、主な減少は、「リース債務(固定)」477百万円によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,559百万円増加し、42,057百万円となりました。

主な増加は「利益剰余金」2,017百万円であり、主な減少は「自己株式」790百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は47.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が概ね想定した範囲で推移しているため、2020年8月7日に公表いたしました連結業績予想数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,342 | 10,506 |
| 営業未収金 | 11,077 | 11,443 |
| 原材料及び貯蔵品 | 264 | 272 |
| その他 | 1,350 | 1,550 |
| 貸倒引当金 | △5 | △5 |
| 流動資産合計 | 20,029 | 23,768 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 18,111 | 18,320 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 4,055 | 4,441 |
| 土地 | 20,496 | 20,683 |
| リース資産（純額） | 8,124 | 7,605 |
| 建設仮勘定 | 1,061 | 2,160 |
| その他（純額） | 179 | 187 |
| 有形固定資産合計 | 52,028 | 53,399 |
| 無形固定資産 | 662 | 631 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,771 | 4,315 |
| 長期貸付金 | 97 | 137 |
| 繰延税金資産 | 3,058 | 3,025 |
| その他 | 2,485 | 2,482 |
| 貸倒引当金 | △14 | △14 |
| 投資その他の資産合計 | 9,398 | 9,945 |
| 固定資産合計 | 62,089 | 63,976 |
| 資産合計 | 82,119 | 87,745 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 4,300 | 4,241 |
| 短期借入金 | — | 4,500 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,175 | 2,427 |
| リース債務 | 1,777 | 1,685 |
| 未払法人税等 | 1,350 | 1,264 |
| 賞与引当金 | 2,046 | 2,234 |
| 役員賞与引当金 | 67 | 31 |
| 設備関係支払手形 | 208 | — |
| その他 | 4,792 | 4,400 |
| 流動負債合計 | 16,719 | 20,784 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 8,468 | 8,750 |
| リース債務 | 6,899 | 6,421 |
| 繰延税金負債 | 236 | 231 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 404 | 404 |
| 退職給付に係る負債 | 6,741 | 6,950 |
| 資産除去債務 | 1,741 | 1,750 |
| その他 | 410 | 393 |
| 固定負債合計 | 24,901 | 24,902 |
| 負債合計 | 41,621 | 45,687 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,000 | 4,000 |
| 資本剰余金 | 5,625 | 5,625 |
| 利益剰余金 | 30,403 | 32,420 |
| 自己株式 | △288 | △1,079 |
| 株主資本合計 | 39,739 | 40,966 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 506 | 845 |
| 土地再評価差額金 | △267 | △267 |
| 為替換算調整勘定 | △52 | △60 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △93 | △125 |
| その他の包括利益累計額合計 | 93 | 391 |
| 非支配株主持分 | 664 | 700 |
| 純資産合計 | 40,497 | 42,057 |
| 負債純資産合計 | 82,119 | 87,745 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 営業収益 | 55,724 | 56,267 |
| 営業原価 | 50,983 | 50,995 |
| 営業総利益 | 4,740 | 5,271 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,109 | 1,981 |
| 営業利益 | 2,630 | 3,290 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 16 |
| 受取配当金 | 37 | 39 |
| 受取賃貸料 | 50 | 50 |
| 持分法による投資利益 | 68 | 45 |
| 補助金収入 | 0 | 70 |
| その他 | 109 | 84 |
| 営業外収益合計 | 271 | 307 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 121 | 116 |
| 為替差損 | 69 | 30 |
| その他 | 36 | 12 |
| 営業外費用合計 | 227 | 159 |
| 経常利益 | 2,675 | 3,438 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 27 | 22 |
| 特別利益合計 | 27 | 22 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 2 | 2 |
| 特別損失合計 | 2 | 2 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,700 | 3,458 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,023 | 1,229 |
| 法人税等調整額 | △117 | △106 |
| 法人税等合計 | 906 | 1,123 |
| 四半期純利益 | 1,794 | 2,334 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 8 | 37 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,785 | 2,297 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,794 | 2,334 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △349 | 341 |
| 為替換算調整勘定 | △16 | △8 |
| 退職給付に係る調整額 | 16 | △33 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0 | △2 |
| その他の包括利益合計 | △349 | 297 |
| 四半期包括利益 | 1,444 | 2,632 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,440 | 2,595 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 4 | 37 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,700 | 3,458 |
| 減価償却費 | 2,520 | 2,474 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △0 | △0 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 162 | 187 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 137 | 161 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △45 | △36 |
| 受取利息及び受取配当金 | △42 | △56 |
| 支払利息 | 121 | 116 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △68 | △45 |
| 為替差損益 (△は益) | 69 | 30 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | △24 | △22 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 639 | △367 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △7 | △8 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △74 | △58 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 30 | △423 |
| その他 | △995 | △52 |
| 小計 | 5,121 | 5,356 |
| 利息及び配当金の受取額 | 40 | 52 |
| 利息の支払額 | △122 | △117 |
| 法人税等の支払額 | △875 | △1,314 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,163 | 3,977 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,496 | △3,828 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 45 | 25 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △30 | △39 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △7 | △7 |
| 貸付けによる支出 | △16 | △61 |
| 貸付金の回収による収入 | 11 | 12 |
| その他の支出 | △138 | △14 |
| その他の収入 | 8 | 7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,625 | △3,906 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|----------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △2,000 | 4,500 |
| 長期借入れによる収入 | 4,150 | 1,700 |
| 長期借入金の返済による支出 | △945 | △1,166 |
| リース債務の返済による支出 | △725 | △857 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △791 |
| 配当金の支払額 | △280 | △280 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △2 | △2 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 197 | 3,103 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △22 | △10 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △286 | 3,163 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,897 | 7,342 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,610 | 10,506 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年8月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式422,800株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が791百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式が1,079百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|---------|--------|--------|------------|--------|
| | TC事業 | DC事業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | |
| 外部顧客に対する 営業収益 | 36,985 | 17,805 | 54,791 | 933 | 55,724 |
| セグメント間の内部 営業収益又は振替高 | 223 | 59 | 282 | 415 | 698 |
| 計 | 37,208 | 17,865 | 55,073 | 1,348 | 56,422 |
| セグメント利益 | 2,688 | 1,998 | 4,686 | 137 | 4,824 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備輸送業・病院等関連物流業・人材派遣業・保険代理店業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 4,686 |
| 「その他」の区分の利益 | 137 |
| セグメント間取引消去 | △84 |
| 全社費用(注) | △2,109 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 2,630 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|---------|--------|--------|------------|--------|
| | TC事業 | DC事業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | |
| 外部顧客に対する 営業収益 | 36,830 | 18,508 | 55,338 | 929 | 56,267 |
| セグメント間の内部 営業収益又は振替高 | 160 | 69 | 229 | 339 | 569 |
| 計 | 36,990 | 18,577 | 55,568 | 1,269 | 56,837 |
| セグメント利益 | 2,634 | 2,593 | 5,227 | 102 | 5,329 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備輸送業・病院等関連物流業・人材派遣業・保険代理店業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 5,227 |
| 「その他」の区分の利益 | 102 |
| セグメント間取引消去 | △57 |
| 全社費用(注) | △1,981 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 3,290 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、生活様式の変化から消費者の行動に大きな変化がみられるなど、当社グループが取り扱う商品の物流におきましても限定的ではあるものの影響を受けております。

首都圏を中心に感染拡大が進む中、収束時期を見通すことは困難な状況となっておりますが、今後、新型コロナウイルス感染症による低温食品物流業界の影響は、2021年3月末に向けて徐々に収束に向かうとの仮定のもと、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについては、重要な影響はないものとして見積りを行っております。

なお、第1四半期連結会計期間末に想定した新型コロナウイルスの収束時期については概ね想定通りと判断しておりますが、新型コロナウイルス感染症による経済活動全般への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財務状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。